

2013年度 前期				リフレクションペーパー			
学科名	情報学科						
科目名	ヒューマンインターフェース						
科目区分	専門科目		単位数	2	開講時期	3年次前期	
必修・選択の別	選択必修科目(ネットワークコース) 必修科目(ソフトウェアコース)						
担当者	大箸 純也						
授業の到達目標 (シラバスから)	・インターフェース設計における社会的要望・責任を知る ・人と機械、人と環境との関係とが相互に関係していることを知る ・感覚器の特徴や認知機能について知る ・安全に関わる要素を知り、その対応方法を知る ・ユーザ分析やユーザビリティ評価の具体的な実施方法を知る						
日程と内容	4月11日 予定、成績評価、ヒューマンインターフェースの要素例 4月18日 メンタルモデル、アフォーダンス、フィードバック 4月25日 ポピュレーションステレオタイプ、インターフェースの社会的責任の障害の基礎、障害のことばまで 5月02日 社会的責任での考え方、法で求めるもの。視機能の基礎 5月09日 視力、照明、老化の文字の大きさまで 5月16日 高齢者の視機能、聴覚機能、色弱、音環境（報知音の前まで） 5月23日 聴覚機能：報知音、手話、前半試験演習 5月30日 認知科学：記憶、スキーマ、記憶法 6月07日 ヒューリスティック、注意の特性、安全の基礎：フルプルーフ 6月13日 フェイルセーフ、チャイルドプルーフ、PL法、ハインリッヒの法則 6月20日 触覚・キーボード・パーセントイル 6月27日 制御特性、ポインティングデバイス、設計の仕様の決定、画面の流れ 7月04日 設計：システムへの要求、やる気の醸成、効率的な情報入手 7月11日 設計：理解・判断の容易化、快適な操作。後半試験演習 7月18日 設計：評価と試験演習2 7月25日 試験演習3						
成績評価基準	定期試験	65%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	35%	計	100%			
授業到達目標の達成度	今回は、パーセントイルを新たに加えました。ユーザビリティ評価は簡略化してしまっていますが、予定の項目は達成できたと考えます。						
反省点	パーセントイルを加えたものの、あまり理解されなかったようです。概念の必要性が分かるような表現が必要だったと考えます。						
来年度の計画	興味を持ってもらうように、新しい話題を加えることができたらと考えますが、大きな変化を加えられないのではと思います。						
授業評価アンケートに対するコメント	特に大きな問題は無いようで、ほっとしています。厳しいことも言いましたが、受講していただいた皆さん、ご苦労様でした。						
履修登録者数	77 名	定期試験 受験者数	72 名	合格者数	70 名	合格率	97%